



やはた

The Salvation Army YAHATA Corps



八幡小隊に関わりのある皆様

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒れ野に道を敷き 砂漠に大河を流れさせる。」

イザヤ書 43章19節

今年は日本で救世軍が働きを開始してから130年の記念の年です。11月21日（金）から23日（日）には、これを記念して全国大会が東京で行われました。今回の大会には当初、英国ロンドンからリンドン・バッキンガム大将夫妻を迎える予定でしたが、大将が直前に体調を崩されたため、代わりにこの地域の万国書記官タンパイ中將夫妻が来日されました。タンパイ中將夫妻はインドネシア出身のアジア系の士官であり、親しみのある人柄で、集会中に日本語の歌を覚えて歌われ、またメッセージもわかりやすい、力強い内容でした。

23日（日）の大会聖別会の会場は、本営（神田神保町）の近くの、これまで度々使用してきた日本教育会館9階にある喜山倶楽部に複数の会場が用意されました。聖別会席上において6人の兵士入隊式が万国書記官の司式によって行われました。その様子もインターネットを通じて同時配信されましたので、各地の小隊や八幡小隊でも視聴することができました。大会の雰囲気はスクリーンを通じて共有され、また実際の会場にいるような思いで参加していただきました。東京の会場には355人が集い、ライブ配信でも80個所での視聴があったそうです。会場では全国から集った方々が再会を喜び姿が見られました。

午後の大会賛美集会には、ゲストに長沢崇史師（カナン・プレイズ・チャーチ主任牧師）を迎えました。長沢師は昨年の救世軍のテーマコーラス「永遠にあなたと」を作詞作曲された方です。賛美集会では、会衆は立ち上がりて手をたたきながら賛美をし、老若男女、年齢を忘れて元気よく歌い、救いの喜びに満たされた集会となりました。

また今回の大会には、アメリカから救世軍人の作曲家ウィリアム・ハイムズ氏（元シカゴ・スタッフ・バンド楽長）が来日されました。ハイムズ氏は、今年の救世軍のテーマソング「わたしの未来も」を作詞・作曲された方としても知られています。22日（金）に日本橋公会堂で行われたバンドレイジング・チャリティー・コンサート（355人）や、24日に山室軍平記念ホールで行われたバンドクリニックでも演奏の指揮をされました。

今回の全国大会は、これまでの大会と比べると規模的には大きいものではありませんでしたが、日本での救世軍の現状の中では精一杯の内容であったと思います。書記長官西村保大佐補が11月のサーキュラーで言われています。一今の日本軍国が直面している課題は、荒れ野の状態と言っても良いかもしれません。その荒れ野に「わたしは荒れ野に道を敷き 砂漠に大河を流れさせる」とおっしゃる神様がいてくださる確信をいただき、……躊躇することなく進みたいと思います。— 今年もイエス様の降誕を待ち望むアドベントを迎えています。クリスマスの祝福にあずかるために、感謝と希望をもって一日一日を大切に歩まれますように、元気でお過ごしください。

発行 2025年12月



福岡県北九州市八幡東区
昭和2-4-5

TEL (093) 652-1584

FAX (093) 482-5077

E-mail: yahata@jap.

salvationarmy.org

小隊士官 樋口和光

小隊士官 樋口愛子



■ユーチューブ配信のご案内 聖書のメッセージは、YouTubeの検索救世軍 または救世軍八幡 でいつでも視聴できます。

■八幡小隊 クリスマスサンデーのご案内

12月21日（日）10:30a.m. 礼拝後、クリスマス祝会（軽食付き）もあります。ご家族と共にぜひ、お出かけください。